

# 市議会 だより

平成24年12月定例会

  
No. 16

平成25年2月1日発行

【主な目次】

- ・ 議会基本条例・議員政治倫理条例を制定……P2
- ・ 12月定例会を開催……P3
- ・ 平成23年度決算を認定……P6
- ・ 議員8名が市政を問う……P9
- ・ 市民アンケート調査結果……P17



とんど祭り(1月10日 金光竹小学校)

# 浅口市議会基本条例を制定

## 浅口市議会議員政治倫理条例

浅口市議会では、平成24年12月定例会において議会基本条例及び議員政治倫理条例を制定しました。

### 議会基本条例

議会の役割、市民と議会との関係、議会と市長との関係など議会運営の基本原則を定めています。

浅口市議会は、この条例に沿い、議員間自由討議、議員の自己研鑽、公正性・透明性の確保などの改革及び積極的な情報公開による市民参加型の議会を推進し、市民に開かれた議会を目指します。

### 議員政治倫理条例

議員が市民の代表者・奉仕者として議員活動を行う際に守るべき行動基準を定めています。

### 議会基本条例の 主な内容

#### ① 議会報告会の開催

議会の説明責任を果たすため、議員自らが地域に向き、議会の報告をします。

#### ② 積極的な情報公開

議会が保有する情報をホームページや議会だよりを通じて積極的に公開します。

#### ③ 一問一答方式の導入

一般質問をより分かりやすくするため、一問一答方式を取り入れます。

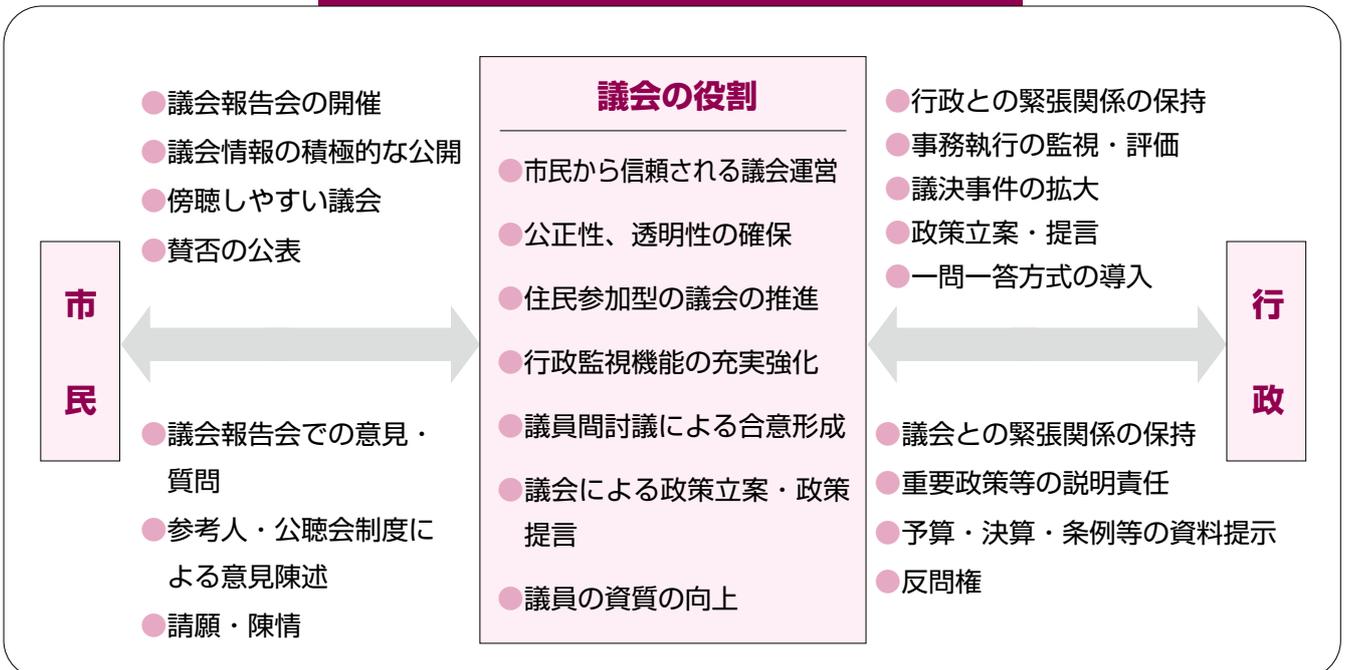
また、執行部には議員に逆質問ができる反問権を認め、議論の活性化を図ります。

#### ④ 賛否の公表

議員の議決責任を明らかにするため、議案に対する議員個人の賛否を公表します。

なお、両条例ともに平成25年4月から施行し、今後運用方法について議会改革特別委員会で協議します。

## 議会基本条例イメージ



# 12月定例会を開催

## 一般会計補正予算 総額2億8,573万円を可決

12月定例会を12月4日から20日までの17日間の会期で開催しました。

初日には、市長の政務報告の後、閉会中に行われた委員会の審査経過の概要が各委員長から報告されました。平成23年度決算認定10議案について採決をし、全て認定することに決定しました。また議会から会議規則、委員会条例、政務調査費に関する条例の改正案3件を発議、執行部から、条例議案5件、専決処分承認5件、平成24年度補正予算案5件、諮問1件、その他2件の18件が上程されました。

2日目からの一般質問では、8人の議員が登壇し、市政をただしました。

4日目には、追加提出議案1件、発議3件及び諮問1件を可決、専決処分5件を承認し、その他の議案は質疑の後、常任委員会に付託し、慎重に審査しました。

最終日には、委員会審査の概要と結果が各委員長から報告され、全ての議案を原案のとおり可決しました。また、請願・陳情2件を採択し、関係機関に意見書を送付することとしました。

なお、議会改革特別委員会から、議会基本条例及び議員政治倫理条例が上程され、いずれも全会一致で可決しました。

### 補正予算審議

#### ○一般会計補正予算(歳出の主なもの)

補正後総額135億2,914万円(対前年比+3.2%)

	事業の内容	補正額
民生費	障害者福祉事業(扶助費等)	3,134万円
衛生費	不活性化ポリオワクチン接種事業	498万円
	し尿処理施設整備事業(金光地区貯留槽整備)	380万円
農林水産業費	寄島漁港施設整備事業(県営事業負担金)	853万円
土木費	鴨方駅南横断歩道橋整備事業	9,555万円
	市道維持補修事業	1,000万円
教育費	金光吉備小学校駐車場整備事業	338万円
	寄島中学校グラウンド整備事業	164万円

【債務負担行為】

- 市営バス運行業務 2,500万円(平成25年度～26年度)
- ごみ収集業務 4億 320万円(平成25年度～30年度)

#### ○特別会計補正予算

	補正額	補正後総額
国民健康保険	9,701万円	45億9,943万円
介護保険	851万円	35億5,171万円
公共下水道事業	254万円	20億2,626万円
工業団地開発事業	51万円	1億 154万円

## 条例

### ● 浅口市青少年育成センター条例の制定

【原案可決】

平成25年4月1日から浅口市青少年育成センターを設立するためのもの。

### ● 浅口市工場立地法準則条例の制定

【原案可決】

企業の工場新增設を推進するため、緑地面積率等の規制緩和をするもの。

### ● 浅口市憩いの広場条例の一部改正

【原案可決】

市に寄附された石井団地公園（金光町占見）、ガーデンタウン鴨方1号及び2号公園（鴨方町六茶院中）を管理するためのもの。

### ● 浅口市特別職の職員で非常勤のものの報酬及び費用弁償に関する条例の一部改正

【原案可決】

浅口市青少年育成センターの設置に伴う運営委員等の報酬を定めるもの。報酬額は日額で、会長6950円、委員6500円。

### ● 浅口市公園・体育施設条例の一部改正

【原案可決】

企業誘致を行うため、平成24年末で小坂西運動場（鴨方町）の用途を廃止するもの。

## 質疑

### 問 大西恒夫議員

小坂西運動場は国からの補助金を受け作っているが、返還金は生じないか。

### 答 谷本教育次長

国の補助金を受けており、当初予算ベースで

175万円の返還金が生じます。

## その他

### ● 笠岡市、浅口市及び里庄町青少年育成協議会規約の一部改正

【原案可決】

浅口市が同協議会から脱退することに伴うもの。

### ● 工事請負契約の変更

【原案可決】

鴨方中学校校舎耐震改修工事の契約金額を35万円余追加するもの。

### ● 和解及び損害賠償額の決定

【原案可決】

公用車の関係する交通事故につき、損害賠償として市が相手方に保険から38万6650円を支払い、相手方は市に1万1977円を支払うもの。

## 質疑

### 問 竹本浩司議員

事故による和解の議案が多い。保険対応で市費の持ち出しはないということだが、保険料はいくらか。事故を起こさないように効果的な対策はとっているか。

### 答 榑田企画財政部長

公用車100台に対し、保険料は年間約240万円です。事故を起こした職員は安全講習会に参加させています。

### 答 栗山市長

今後一層安全運転に気をつけるよう指導していきます。

## 専決処分

### ● 浅口市一般会計補正予算（第3号）

【承認】

浅口市土地開発公社が先行取得した公共用地取得事業及び同公社の借入金に対する債務保証の限度額を変更する債務負担行為補正。

### ● 和解及び損害賠償額の決定

【承認】

公用車の関係する交通事故につき、市が相手方に損害賠償として、保険から2万1000円を支払うもの。

### ● 和解及び損害賠償額の決定

【承認】

公用車の関係する交通事故につき、市が相手方に損害賠償として、保険から3万8522円を支払うもの。

### ● 和解及び損害賠償額の決定

【承認】

道路管理瑕疵<sup>かし</sup>に起因する事故につき、相手方に対し損害賠償として、保険から57万7500円を支払うもの。

### ● 浅口市一般会計補正予算（第4号）

【承認】

衆議院議員選挙費1807万円の増額補正。

## 諮問

### ● 人権擁護委員の推薦

【適任】

議会の意見として、金光英子氏を人権擁護委員として引き続き適任としました。任期は平成25年4月から3年間。

## 請願・陳情

次の請願・陳情を採択し、関係機関に意見書を  
送付しました。

●「速やかな取調べの可視化（取調べの全過程の録  
画）の実現を推進する意見書」採択に関する請願

【採択】

【要旨】取調べの適正化を図り、えん罪を防止す  
るために、速やかな取調べの可視化（全過程の録  
画）の実現を国に求める。

提出者 岡山弁護士会

紹介議員 田口桂一郎議員

●国・県に対して「私学助成の拡充を求める意見  
書」の提出を要請する陳情書

【採択】

【要旨】国に対し、私学助成の充実と私立高校の  
無償化を、県に対し私学助成施策の充実を求める。  
提出者 岡山県私学助成をすすめる会

## 発議

●浅口市議会会議規則の一部改正 【原案可決】

本会議においても、利害関係者や学識経験者な  
どから意見を聞く参考人の招致や公聴会の開催を  
行うことができるように改正するもの。

●浅口市議会委員会条例の一部改正 【原案可決】

地方自治法の改正により、削除された項目を条  
例に委任するもの。

●浅口市議会政務調査費の交付に関する条例の一  
部改正 【原案可決】

地方自治法の改正により、「政務調査費」の名  
称が「政務活動費」に変更され、交付目的が「議  
員の調査研究その他の活動」に改められたことに  
より、政務活動費を充てることが出来る経費の範  
囲を定めるもの。

●浅口市議会基本条例の制定 【原案可決】

議会及び議員に関する基本事項を定め、議会の  
活性化を図り、市民の負託に応えられる議会運営  
を実現し、市民生活の向上と市政の発展を目指す  
ためのもの。

●浅口市議会議員政治倫理条例の制定 【原案可決】

政治倫理に関する規律の基本となる事項を定め、  
議員の政治倫理の確立を図り、市政の発展に寄与  
するためのもの。

## 委員会審査の概要

条例案や予算案などの議案は常任委員会に付託  
し、慎重に審査しました。議案審査で行われた主  
な質疑、意見の概要は次のとおりです。

### 青少年育成センター条例の制定

問 業務として関係機関及び団体等との連絡調整  
とあるが、どのような団体か。

答 警察や児童相談所、他市の育成センターなど

### 工事請負契約の変更

問 変更する主な工事内容の内訳は。

答 増額工事として便所改修工事、屋外防水工事  
などの調整、減額工事として太陽光発電の売電方  
式変更に伴う電気設備工事や下水工事の変更があ  
り、差し引き額を変更するものです。

### 一般会計補正予算

問 金光吉備小学校駐車場整備事業（338万  
円）の詳細は。

答 耐震化工事に伴い、田を賃貸借し、駐車場と  
して整備するものです。金光吉備小学校は既存の  
駐車場が狭いため、工事後も引き続き駐車場とし  
て使用していきたい。

問 障害児通所給付費（861万円）の増額の理  
由は。また今後の見込みはどうか。

答 この事業は、平成24年4月に県から移管され  
た業務であり、当初の見込みよりサービスを利用す  
る方が多かつたためです。平成25年度以降もサービ  
スを利用する方が増えることが予想されます。

問 鴨方駅南の国道2号横断歩道橋整備事業  
（9555万円）について、歩道橋はいつごろで  
きるのか。

答 平成24年度中に契約を締結し、平成25年秋ご  
ろに完成する予定です。

# 平成23年度 決算を認定

9月定例会に上程され、閉会中の継続審査となっていた平成23年度決算の認定議案10件について、すべて認定しました。

## 平成23年度浅口市決算額

(金額は1万円未満切り捨てのため差し引き額が一致していません。)

区 分		歳 入	歳 出	歳入歳出差引額
一般会計		141億1,331万円	129億9,216万円	11億2,115万円
特別会計	国民健康保険	44億8,073万円	42億 29万円	2億8,044万円
	後期高齢者医療	4億3,417万円	4億3,368万円	49万円
	住宅新築資金等貸付事業	484万円	338万円	145万円
	介護保険	33億1,480万円	32億3,032万円	8,447万円
	公共下水道事業	18億3,391万円	17億9,369万円	4,021万円
	畑地かんがい給水事業	900万円	661万円	238万円
	益坂財産区	3,925万円	3,576万円	348万円
	工業団地開発事業	1億9,547万円	3,291万円	1億6,255万円
	計	103億1,220万円	97億3,668万円	5億7,552万円
水道事業会計	収益的収入及び支出	(収入)6億6,255万円	(支出)7億1,074万円	▲4,818万円
	資本的収入及び支出	(収入)1億7,987万円	(支出)1億6,414万円	1,572万円

※一般会計は歳入歳出のうち5億円を基金に繰り入れています。  
 ※歳入歳出差引額には、翌年度へ繰り越すべき財源が含まれています。

### 委員会審査の概要

委員会の決算審査で行われた質疑、意見の一部を紹介します。

#### 一般会計

**問** ふるさと寄附金(一般寄附金)を13人から174万円受けているが、どのようなPRをしているか。

**答** 近畿や東京などの岡山県人会で市長がパンフレットを配布するなどPRに努めています。

**問** 資源回収推進団体奨励金(615万円)が22年度から150万円ほど減っているが、団体数が減ってはいないか。

**答** 団体数は変更ありませんが、23年度から金光町域で分別収集の品目を増やしている影響と思われる。

**問** 子ども医療給付費(1億2541万円)が22年度途中から中学校まで拡大された。額が相当増えているが、近年の経過は。

**答** 21年度8204万円、22年度9393万円、23年度が1億2541万円で、給付者数、額は増えています。

**問** 老人福祉費の負担金補助及び交付金(4億3447万円)が年々上昇している。団塊の世代など、今後も増額が見込まれるが、補助金の見直しはどのように考えているか。

# 委員会レポート

各委員会の開催状況、審査内容をお知らせします。

## 総務文教常任委員会

### ● 11月16日開催

平成23年度一般会計（所管分）と益坂財産区特別会計の決算を審査し、いずれも認定すべきものと決定しました。

### ● 12月13日開催

委員会付託された青少年育成センター条例の制定、特別職の職員で非常勤のもの報酬及び費用弁償に関する条例の一部改正、公園・体育施設条例の一部改正、青少年育成協議会規約の一部改正、工事請負契約の変更、一般会計補正予算（所管分）を審査し、すべて原案のとおり可決すべきものと決定しました。

また、取調べの可視化を求める請願について、不当な取調べを抑制し、えん罪を防止するため、取調べの全過程の録画による可視化を求めるという趣旨を適当とし、採択すべきものと決定しました。

国や県に私学助成の拡充を求める陳情書は、国の高校無償化政策により生じている公私間格差を解消することが適当であると判断し、採択すべきものと決定しました。

## 民生常任委員会

### ● 11月15日開催

平成23年度決算では、一般会計（所管分）と、国民健康保険、後期高齢者医療、住宅新築資金等貸付事業、介護保険の特別会計決算4件を審査し、すべて認定すべきものと決定しました。

### ● 12月14日開催

委員会付託された、一般会計補正予算（所管分）と国民健康保険、介護保険の特別会計補正予算2件を審査し、すべて原案のとおり可決すべきものと決定しました。

## 産業建設常任委員会

### ● 11月19日開催

平成23年度決算審査を行い、一般会計（所管分）と公共下水道事業、畑地かんがい給水事業、工業団地開発事業の特別会計決算3件並びに水道事業会計を審査し、すべて原案のとおり可決すべきものと決定しました。

### ● 12月17日開催

委員会付託された、工場立地法準則条例の制定、憩いの広場条例の一部改正、一般会計補正予算（所管分）、公共下水道事業と工業団地開発事業の特別会計補正予算2件を審査し、すべて原案のとおり可決すべきものと決定しました。

**答** 高齢者の増加にあわせ、老人クラブの活動等は活発になってきている。活動内容をきちんとしていただくことと、全体の枠が限られることが予想されれば、各団体への適正な配分を考えていかなければなりません。

**意見** 将来を考えれば、独自の政策をして、明るく楽しく過ごせるような策を検討して欲しい。

## 公共下水道事業特別会計

**問** 長期借入金償還金の元金（6億2576万円）と利子（2億9443万円）の対象事業は。また、利息は何パーセントか。

**答** 金光、鴨方、寄島の浄化センター建設費や管路の工事分の起債がトータルで約140億円あり、その返済分です。借りる年度によって利率は変わります。高いときで4・9%、現在は2・1%程度です。

**意見** 利息の高いものを早く償還するよう、精査してください。

## 水道事業会計

**問** 未収金の総額は。未収者には給水停止の措置をとっているか。

**答** 約3950万円が未収金です。3期以上滞納すると給水停止手続きをとっています。

**問** 有収率（配水した水のうち料金の対象となる割合）が下がっているが、その率と原因は。

**答** 22年度比で1・3%下がっています。原因は老朽菅が多いための漏水と考えられます。配水管更新事業を検討しなければならぬと考えます。

## 常任委員会

## 特別委員会

### 鴨方駅周辺整備調査特別委員会

● 11月9日開催

鴨方駅から国道2号を横断する歩道橋の整備状況について報告を受けました。橋げたの製作工事は平成25年3月に完成する。国から交付金が交付されることになり、平成25年度に予定していたエレベーター工事を平成24年度に前倒して実施する。総事業費は1億2400万円、完成は平成25年秋ごろの見込みであるとのことでした。

**問** エレベーター工事等を前倒し、一括発注することによるメリットは。

**答** 一括発注により、諸経費及び事業費の削減が期待できます。

**意見** できるだけ経費を抑えて事業を実施するように要望します。

### 国道2号バイパス及び 主要道路整備調査特別委員会

● 11月20日開催

鴨方町六条院東鴻ノ巣地内で施工されている高架の橋脚工事の視察を行い、橋脚は平成24年

度末に完成予定との説明を受けました。

また、国道2号バイパスの整備状況は、金光町佐方までは平成26年度末に開通予定。鴨方地区の工事は、六条院中生石地区は既に境界確認が終了、用地測量をしている。六条院西地区は平成25年度から用地買収に入るとの報告がありました。

### 上下水道整備調査特別委員会

● 11月19日開催

5月の委員会以降、笠岡市と計8回の事務協議を行い、水利権の譲渡について金額の最終調整を行っているとの報告を受けました。

下水道事業の全体計画の見直しと変更認可業務は平成24年度末に完了予定で、地元説明会での意見などをもとに行う。今後さらに変更の要望があれば、その意向を十分汲み取り次の見直しの際に反映していきたいと説明が



橋脚工事現場を視察

ありました。  
**意見** 公共下水道の敷設は住民の意見をしっかりと聞き取り、地元の意向を正確に把握して実施するべきです。

### 議会改革特別委員会

● 11月22日、12月4日開催

・議会基本条例  
他市の状況を元に、基本条例の運用方法について協議しました。また、12月定例会中に上程することを決定しました。

・議員政治倫理条例

基本条例と同じく、12月定例会中に上程することに決定しました。

・市民アンケート

浅口市議会に関するアンケート調査結果を議員全員に配布しました。

今後アンケート結果をもとに協議を進めます。(アンケート結果は17ページから掲載しています)

# 一般質問

## 議員8名が

## 市政を問う！

12月定例会では8名の議員が一般質問を行いました。

なお、一般質問の記事は質問した議員が作成した原稿に基づき掲載しています。



香取 良勝議員

## トレーニングルームだけが 何故無料なのか?

**問**

市民の中から無作為に仕分け人12名を任命して審査し、本会議において議長が委員会に付託した議案を委員会で審査し可決した。その議案を議会の多数決で否決したのは納得が出来ない。年間約1000万円の経費がかかるトレーニングルームを利用されていない市民も間接的に税金を支払っている。

トレーニングルームには、トレーナーが3名、冷暖房、器具、トレーナーが問診、運動のプログラム作成、指導、体重、血圧測定、これで無料とは市民が納得しますか?

トレーニングルームの利用者からも、利用料を支払って利用したいとの申し出もあるものにも関わらず、議会で精査せずに否決した事には利用者からも納得できないとの声がある。

卓球をしている65歳以上の方は体育館を利用するだけで、冷暖房、トレーナー、血圧、問診など一切ない!! しかし、65歳以上の方が大多数にも関わらず一人当たり1000円支払って体育館を利用している。

他のスポーツ「バドミントンその他」など利用料を支払っているのに、トレーニングルームだけ無料なのか? 市民が怒りますよ。

浅政会、大西恒夫議員、共産党、公明党が多数決で否決したわけです。

仕分けを傍聴した議員は議長、原議員、佐藤議員(公明党)。仕分けを傍聴して何故反対するのか納得がいかない。市の今後の対応をお尋ねします。

**答**

栗山市長

トレーニングルームの件については議会での最終判断であり、これを重く受け止めております。財政運営の中、行政改革の視点で、皆様のご意見を聞いて慎重に検討していきます。

**答**

襟立健康福祉部長

厳しい財政の中にあつて、こういった福祉施設や施設運営、効率性であるとか、財政改革という視点で福祉サービスの両面にバランスをとるかは非常に重要な事と思います。トレーナー3名体制で利用者の助けをしています。機械の破損、血圧計の調子が悪い事で利用者にご迷惑をかけています。一層慎重に検討していきます。

## 良い事は市民が 共有するべきでないのか!!

**問**

金光はランドセル「4200円」を無料配布している。黄色いランドセルは軽く、強く、遠足などにも使用でき、貧富に関係なく「子供は皆平等」防犯に対応している。合併時にこのランドセルを配布しないとの話が出たが、金光の父兄、先生からの大きな抵抗で、金光は今も黄色いランドセルを無料配布している。6年間利用できる、全小学校同じランドセルで親の負担もなく公平な学校生活を送っている。浅口市(鴨方、寄島)も浅口市民であり、良いことは学ばべきと思ふが。



金光地区のランドセル

**答**

城山教育長

金光は合併の前から入学時にランドセルを支給しており、全員が同じランドセルで通学しています。友達も同じもので、絆を感じる事にもなり、ほほ笑ましい状況でありましょう。鴨方、寄島では4200円の商品券を配布しています。

**答**

栗山市長

PTA会長の集まりで議題として取り上げていきます。今後保護者の皆様からのご意見を頂くなど、小学生を見守る皆様の思いを尊重していきます。



佐藤 正人議員

## 新体制の県政に望むことはー！

**問** 平成24年11月に岡山県の新しい舵取り役を担う伊原木県知事が誕生しました。県知事の重点政策として産業振興と教育再生を掲げておられます。市長の県知事への要望点などお聞かせ下さい。

## 答 栗山市長

県知事の公約において、産業振興については新産業の育成と企業誘致、農業産業の振興と支援で岡山を元気にすると掲げておられます。この県知事の方針は浅口市の総合計画における企

業誘致、農業生産性の向上、農業生産基盤、漁業環境の整備等とおおむね同様の方向と認識しています。今後の県の産業施策に大いに期待するものであり市としても要望や提案等していきます。また、教育行政についても地域発展、再生のための人づくり、次世代育成の観点から県知事の教育再生の方向と一定の共通性があることから今後、県並びに県教育委員会と連携を強化していきたいと考えます。

## 浅口市のバス事業は！

**問** 井笠バス事業が廃止され、当面の措置として平成25年3月まで中国バスや寄島タクシーによる代替運行が継続されています。市営バス「浅口ふれあい号」の運行の利便性の向上や有償化なども含めて平成25年度以降の本市のバス事業についてお聞かせ下さい。



路線バス代替運行の今後は

## 答 栗山市長

寄島里庄線については利用者も多く、また里庄町からも運行を継続してほしい旨の申し出も

あり、市として平成25年度も運行を継続する予定です。寄島新倉敷線については路線の大部分を占める倉敷市と今後も協議したいと考えています。市営バス浅口ふれあい号の有償化については、必要経費や市民の皆様の要望やご意見に迅速に対応できる現在の無償運行のほうがメリットがあると考えます。

## 選挙に関わる改善策としてー！

**問** 市民の多くの皆さんから声を聞きます。期日前投票の際に書く宣誓書ですが、よりスムーズに投票が出来るように事前に記入できるように方は考えられないでしょうか。高齢者や障がいを持たれた方にとっては投票所で記入するのが億劫という方もおられます。改善策についてお伺いします。

## 答 榎田企画財政部長

岡山市では、10月の県知事選から1名ごとの入場券の裏に宣誓書を印刷して、事前に記入したものを受け付けています。浅口市と比べ非常に投票者数が多く、投票所の混雑を避けるために導入されたと聞いています。浅口市で考えますと印刷費やシステム改修の事務経費、郵送料の増額などの課題があります。事務の効率化や経費節減、受付での対応の面から現在の方向が好ましいと判断しています。



桑野 和夫議員

## 笠岡放送に要望 きめ細かいニュース放送へ

**問** 浅口市が保有するケーブルネットワーク金光の株を売却する条件のひとつとして、ニュースなどは引き続ききめの細かいものを放送するということだったと思いますが間違いないですか。

**答** 田村副市長

確かに条件のひとつです。

**問** 市民の声は、特にニュースなどで、身近な情報がなくなったというものが多い。ニュースの放送時間を拡大するなどして対応できる

ように重ねて笠岡放送に要望してほしい。

**答** 田村副市長

今後とも引き続き要望します。

## 乗りやすいよう改善を 市営バス

**問** 市営バスは、佐方、須恵、大谷を走る金光南線の乗車人数が一番少ない。一層、地域の要望を集めて、乗りやすいように改善してほしい。

**答** 榑田企画財政部長

金光南線は買い物時間を確保するためにダイヤの工夫をする予定です。毎年検討して、少しでも利便性が増すように努力したい。

## 金光、鴨方にも設置 海拔表示板

### 海拔表示板

**問** 国が平成24年8月に発表した南海トラフの巨大地震による新しい被害想定はこれまでの想定を上回っています。こうした中、平成24年度の予算で寄島地域に海拔表示板を40ヶ所設置することになっています。これは避難の目安や防災意識の向上のため重要です。海に面している寄島に設置することは理解できますが寄島以外にも設置してほしい。

**答** 榑田企画財政部長

ハザードマップを見ると内陸部でも海拔の低いところもあり、平成24年度分については鴨方が1割、金光が1割程度設置して防災への意識を高めたい。

**問** 平成25年度以降、この事業は継続されるのか。

**答** 栗山市長

市民の自助と共助を基本とした防災意識を高めていくためにも、継続して設置する方針です。



海拔表示板 (写真は倉敷市)



大西 恒夫議員

## 太陽光発電

**問** 市長は、1年前の議会で「浅口市は、晴れの国という特性を生かした太陽光発電を推進していくことこそが地の利を生かしたものである」と答弁されています。その後、具体的な計画やお考えをお聞かせください。

**答** 栗山市長  
現在寄島地内2ヶ所にメガソーラーの設置が決定しており、この他にも寄島、鴨方に1ヶ所ずつ準備が進んでいます。また市内の公共施設6ヶ所に設置しています。浅口市の太陽光発電は着実に進んでおり、これからも進めていきます。

## 問

平成24年7月から、1kWh（1時間あたりの電力量）42円で全発電量を20年間、買取りが決まっています。基本は10kW以上の設備です。10kWの設備を作る条件は、よく日の当たる場所150㎡、資本金が400万円、近くに電柱、電線があることです。1kWの設備に対して年間発電量は、1000kWhです。42円×1000＝42000円になります。400万円の投資に対して年間42万円の収入です。1割の利益です。預金利子は0・何%です。市民の皆さんのタンス預金の活用を考え、市に相談窓口を設けてはいかがでしょうか。今、電力の燃料は、石油やガスの輸入で賄っています。



太陽光発電システム

外国へお金を払っているわけです。市民の皆さんのお金を活用できれば、その燃料代は市民の収入となります。そして地元の消費につながります。メガソーラーでは雇用は生まれません。

**答** 栗山市長  
市民の皆さんからそのような提案がありましたら真剣に相談に乗らせていただきます。

## 職員のパソコン教育と事務の効率化

**問** 昔は、事務をする人は読み・書き・そろばんと言われていました。今は、パソコン使用能力が大切です。どのような形で能力向上を図られているのか、お聞かせください。

## 答

榎田企画財政部長  
ワードやエクセルなどの基本操作は、通常業務として標準になっています。非常勤職員もパソコンが出来る人を募集しています。最近パソコンの基本操作の講習は行っていません。新しいシステムの導入時は、全職員を対象に研修を行っています。

## 問

技術力があることによって事務能力が上がるのです。職員の能力アップのため少々お金をかけても良いのではないですか。浅口市は、パソコンやデータの管理等に業者に毎年数千万円払っています。職員のレベルアップによってその一部は節減できるのではないのでしょうか。

## 答

榎田企画財政部長  
グループウェアなど日々使うものについては平成24年も4回、例規システムは2回研修をしています。特殊なものは、研修センターで勉強をしています。

日々の業務の効率化を図るということは、今年も多くの職員がやっています。基本的なものとレベルアップについて、これからも努めていきます。



原 彰議員

## 公益法人シルバー人材センターの支援強化について

問

退会者が入会者を大幅に上回っています。高齢化の進展はこうした傾向に拍車をかけます。特に技能と体力経験を必要とする剪定部門の人員不足が深刻です。剪定需要は十分あるのに供給側の人員が不足すれば市民の利益を損なわれます。例えば10月末頃の剪定を希望していても、それが実施されるのは12月にずれ込んだり、年を越して1月の中旬頃となっていくのです。これは市民にとっても市にとっても不利益です。需要と供給のバランスが大切です。市も人員確保に協力していくことが重要と考えます。

答

襟立健康福祉部長

後継者の育成、消費ニーズの把握は大切です。シルバー人材センターと連携を強化し運営基盤安定化の支援を継続していきます。

答

栗山市長

シルバー人材センターの果たす役割は非常に重要です。そのため市の実施する多くの業務も委託しています。今後とも連携を強化して補助金の交付や業務の委託だけでなく就業することでの高齢者の皆様の生きがいや健康づくりの推進を図っていききたいと考えています。

## 幼稚園教育について

問

本市では幼稚園教育は4歳児と5歳児の2年保育です。それを3歳児からと考えます。その理由は3つです。1つは幼稚園が教育機関であること。2つ目は3歳になりますと自我を出してきます。自我に対応した教育が必要であると考えます。3つ目は自民党安倍総裁が選挙公約で3歳から5歳児までの教育費を無償にするとしている点です。

答

城山教育長

検討すべき課題も数多くあります。幼稚園の教育機関としての役割、自我の芽生えるこの時期を4歳児と5歳児と一緒にやった方がよいの

ではないかと、3歳児から5歳児までの教育費無料化等々今後更に研究をすすめていきます。

## 学校教育のあり方について

問

浅口市の学校教育の基本的な考え方、その取り組み、そしてどのような視点でまたどのような反省に立って学校教育に取り組んでいくのか。

答

城山教育長

学校教育の目指すところは基本的な生活習慣に裏づけられた知、徳、体の調和のある育成です。その場合家庭の協力は不可欠と考えます。そこで浅口市では、学校がどのように家庭に働きかけ保護者の意識を喚起すべきかを、平成24年度と25年度寄島小学校と幼稚園を研究指定校として研究、実践に取り組んでいくことにしています。更なる前進を期待して鋭意努力をしているところです。

次に岡山県の小中学校の学力が全国でも最下位に近いところにあります。その改善に向けてさまざまな対策が考えられています。家庭学習を重視した宿題とか、放課後の補充学習、土曜日の指導等です。まだまだ研究段階といったところですが関係者で協議し、更に研究を重ねていきます。できることから早急に実施したいと考えています。



井上 邦男議員

## 浅口ふれあい号の利用状況と市民の反応は

**問** 浅口ふれあい号が始まって1年9カ月になりましたが、その後の利用状況と市民の反応について、市側はどのように考えていますか。また、平成25年度も無料化ということですが、これからも無料化の方向で進めていくのですか。

**答** 榎田企画財政部長

運行開始以来、多くの皆様にご利用いただき、現在も順調に運行を続けております。平成23年

度は6路線で利用人数がのべ2万540人、1便あたり5・7人でありました。平成24年の4月から11月末では、のべ1万6470人の方にご利用いただきまして、平成23年同期に比べ、2751人増加しております。また利用者のご意見をお聞きする調査を9月に実施したところ、市営バス利用者の満足度は、満足・どちらかといえば満足を合わせて8割を超えており、市営バスの運行は好評をいただいていると思っております。今後も市営バスの運営については利用者の声をお聞きするとともに、地域公共交通会議の方針を尊重しながらさらなる利便性の向上を図ってまいります。

**問** 市営バスの路線の変更について、鴨方整形外科のところまで延ばしてほしいとの要望がありますが、どうですか。

**答** 栗山市長

路線の変更は安全・安心が1番でありますので警察の関係の方と協議の上変更させていただきたいと思っております。平成25年4月から鴨方整形外科へは停めることにいたします。



浅口ふれあい号の見直しは

**問** 平成25年4月からといったらまだ大分あります。お年寄りの方は大変今困っておられます。警察との協議を早くして、4月まで待たずに早くお願いしたいと思えます。

**答** 栗山市長

いろいろ協議しながら4月よりも早く行けるように努力してみたいと思えます。

## 金光駅整備の方向は

**問** 金光駅整備について、全体的にどのようなのか、また市民の要望についてそれにこたえてやっていくのかお尋ねします。

**答** 松田産業建設部長

南側は現在、臨時の改札口が設置されていますが、この改札口を常時利用できるように整備を進め、南側に自動車乗り降りできる場所またタクシーの待機ができる場所などがあるロータリー広場、そして駐輪場の整備を、北側については周囲に歩道の整備を予定しています。



岡邊 正継議員

## 金光駅周辺整備事業の財源の償還方法は

**問** 9月の質問で答弁をいただいていた部分について、引き続きお尋ねします。合併特例事業債は対象経費の95%が起債でき、そのうち70%が交付税算入されることは、議員はみんな知っています。その起債の償還の方法を尋ねます。

## 答 榊田企画財政部長

元利の償還は毎年9月、3月に返していきま  
す。その年の償還分はその年の交付税に算入さ  
れ、4月、6月、9月、11月と4回に分けては  
いりますので、元利を9月、3月に返すときは  
交付税算入の分は確保されます。

仮に6億円程度で借りるとすると、10年で返

すのがよいと考えています。元利合わせて2年  
間据え置いて8年で返すと7千数百万円ずつ返  
すこととなります。その7割は国から交付税措  
置されるので、十分返すことができると考えます。

## もえるごみの収集回数を3回に

### 問

寄島町のもえるごみ収集回数が、平成25年7  
月から週3回から2回に減ることになります。  
7月23日に環境衛生協議会寄島支部の臨時総会  
が開催され、2回に決まりました。環境衛生委  
員には「なぜ2回に減らすのか」と疑問に思う  
声があります。なぜ金光、鴨方を3回に合わせ  
る努力をしないのですか。なぜ今まで何年間も  
週3回収集してきたごみ収集を2回に減らすの  
ですか。どこでこの問題が出て、どういう人で  
話し合い、どのように環境衛生協議会で諮った  
のですか。

金額的に収集を1回減らすとどれぐらい経費  
が減るのですか。時間外勤務の削減など、合理  
化すれば、無駄な経費はすぐに節減できます。  
なぜ臨時総会を開いてまで平成25年7月に統  
一することを決めなければならなかったのです  
か。7月といえば夏で、悪臭を放ったり、カラ  
スがつついたりします。年度末まで待って、総  
会までに見直そうという気持ちはありません  
か。寄島町の大半の声として見直してはもらえ  
ないですか。

## 答 原田生活環境部長

寄島町のごみ収集業務は民間に委託してお  
り、平成25年6月で委託期間が満了します。新  
たな収集業務を委託するにあたり、収集回数を  
統一します。環境衛生協議会寄島支部臨時総会  
で説明したところ、反対する意見はなく、協力  
的な発言が多くありました。行政サービスの統  
一、平等化という観点と、収集回数を増やすと  
ごみの量が増加するという統計数値があり、週  
2回に決めました。

## 答 栗山市長

一般廃棄物処理事業の取り扱い、平成17年  
の合併協定書に岡邊議員が町長の時に判をつか  
れて、合併後5年を目途に調整すると明記され  
ています。

鴨方、金光町の収集回数について一度も苦情  
や相談は寄せられていません。寄島町の皆さん  
には御迷惑をおかけしますが、仮に23年度の寄  
島町域の可燃ごみが、鴨方町域並みに削減され  
た場合、単純計算で約860万円の削減となり  
ます。快適な生活を営むためには衛生面もしっ  
かりとしていかなければなりません。金額的なこ  
とも考慮していかなければなりません。周知期  
間として早く説明をしていくように私が指示し  
ました。



道廣 裕子議員

**過疎債で浅口市過疎地域自立促進市町村計画にあるフットサル場の増設を！**

**問** フットサル場については、計画で一層の利用をしてもらい、地域が発展するように書かれています。

そこでもう2面を増設することで、近隣にない大きな大会もできるし、活性化にもつながるので整備をお願いしたい。



フットサル場の増設を

**答 谷本教育次長**

フットサル場は、年間1万3000人、1万4000人が利用しています。収入も過去5年間の平均で300万円をこえており、昨年度までの5年間で1000万円の黒字です。反面、人工芝も張替えが必要になっています。それに3000万円はかかります。特に使用に支障はないので、今の2面を最大限利用してほしい。

**市営バス運行の見直しは！**

**問** 市営バスの見直しはあるのか、あればどこをどう見直すのか。

**答 榎田企画財政部長**

見直しはあります。公共交通ですから、できるだけきめ細かく回りますが、そうすると時間的なルートが組みにくく苦勞します。なるべく市民の要望に応えて良いものにしていきたい。

**問** 寄島東線（安倉峠経由）の鴨方駅経由はなぜできないのか、研究はしたのですか。来年度完成の南北自由通路ができ、国道2号南で下車すれば10分余で可能です。

**答 栗山市長**

研究はしております。この度、全便西廻りで乗り換え可能ということですので、しばらく今のままで乗り換えてご利用いただけたらと思っています。

**大型(4000食以上)の学校給食センター化は問題。旧鴨方のセンター化で地産地消を！**

**問** 給食は、学校給食法で教育の一環であると定められており、児童、生徒に給食で望ましい習慣を養い、学校生活を豊かにすることが求められています。センター化の発端は。また学校給食施設整備検討委員会での検討内容と今後の計画は。

**答 谷本教育次長**

センター化は、庁内でプロジェクトチームを作り3回会議を開催しました。6施設それぞれ整備すると多額の費用が予想されるので別の所に学校食品衛生管理基準に基づいた新しい施設を整備した方が早く課題が解決できること、合併特例債が使えることなどから出されたものです。

**答 城山教育長**

検討委員会は、今年度末までにアレルギー対策、空調設備施設が国の衛生管理基準に達していない場合の運営上の問題等検討しています。また、ご指摘の地産地消の問題、食育等はしっかり配慮してまいります。

# 浅口市議会に関する 市民アンケート調査結果

## ◎ 調査の目的

浅口市議会では、平成22年9月より議会改革特別委員会を設置し、議会基本条例及び議員政治倫理条例を制定するなど、議会改革を推進しています。

今回、市民に開かれた議会づくりにむけて、市民の皆様の議会に対する率直な意見・要望を把握し、今後の議会改革のための資料として活用するとともに、市民の意見を改革に反映することを目的に、市民アンケート調査を実施いたしました。

無作為に抽出した市民2000人を対象に調査票を送付させていただきましたところ、本調査の趣旨をご理解いただき、963名の方からご回答いただきました。本調査の結果は貴重なご意見として議会改革特別委員会における議会改革の資料として活用してまいります。皆様のご協力に対し、厚く御礼を申し上げます。

## ◎ 調査の方法

- |           |                         |
|-----------|-------------------------|
| (1) 調査地域  | 浅口市                     |
| (2) 調査対象者 | 20歳以上の市内居住者2000人（無作為抽出） |
| (3) 調査方法  | 郵送配布・郵送回収               |
| (4) 回収結果  | 回収数963件（回収率48.2%）       |
| (5) 調査期間  | 平成24年9月7日から平成24年9月24日まで |

## ◎ 調査項目

- 1 調査対象者の属性（問1、問2）
- 2 市議会への関心度（問3～問5）
- 3 市議会に関する評価（問6、問7）
- 4 議会改革に関する意向（問8、問9）
- 5 議員定数に関する意向（問10、問12）
- 6 議員報酬に関する意向（問11、問13）
- 7 政務調査費に関する意向（問14）

※地方自治法の改正により「政務調査費」は「政務活動費」に名称が改められました。



## 報告書はホームページに掲載しています

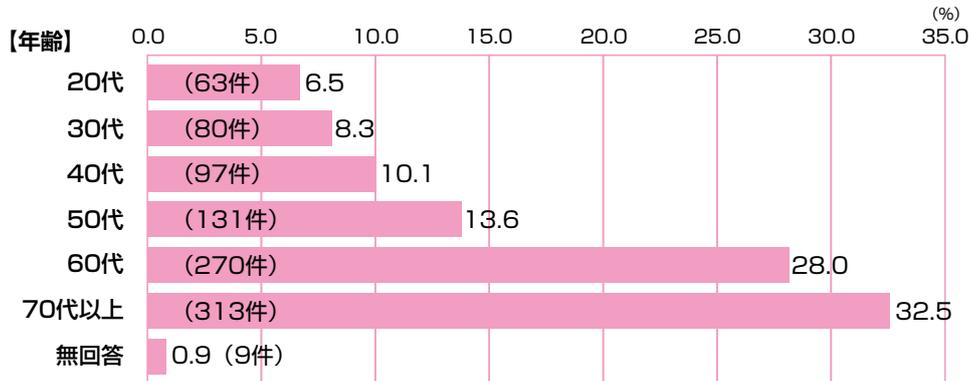
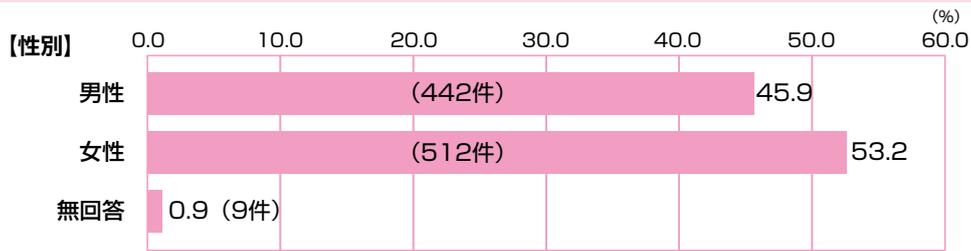
本調査結果は浅口市議会のホームページにも掲載しています。

議会だよりにはページの都合上回答件数のみを掲載していますが、ホームページでは、性別、年齢別、住まい別のより詳しい分析や、その他自由意見の集計結果などを掲載しています。

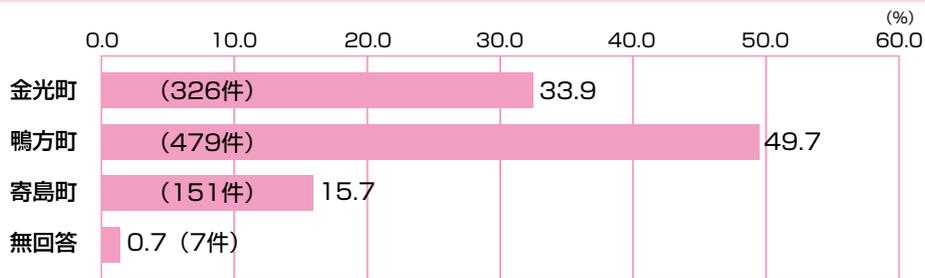
また、調査結果報告書は、議会事務局、各総合支所、市立図書館にあります。閲覧を希望される方は窓口にてお申し出ください。

浅口市議会ホームページ <http://www.city.asakuchi.okayama.jp/gikai/gikai.html>

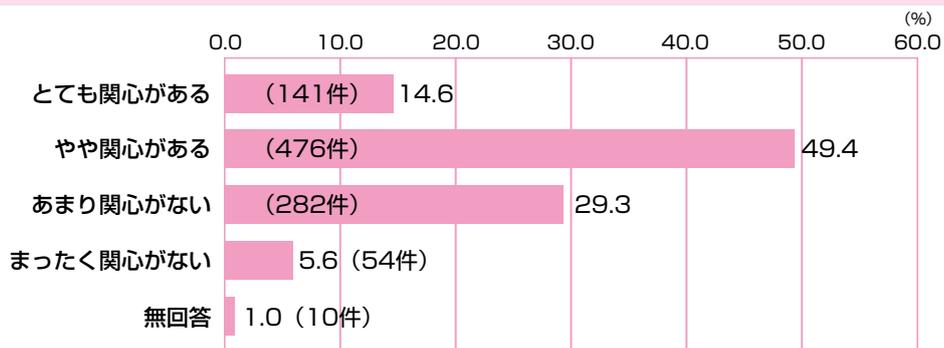
問1 あなたの性別と年齢を教えてください。



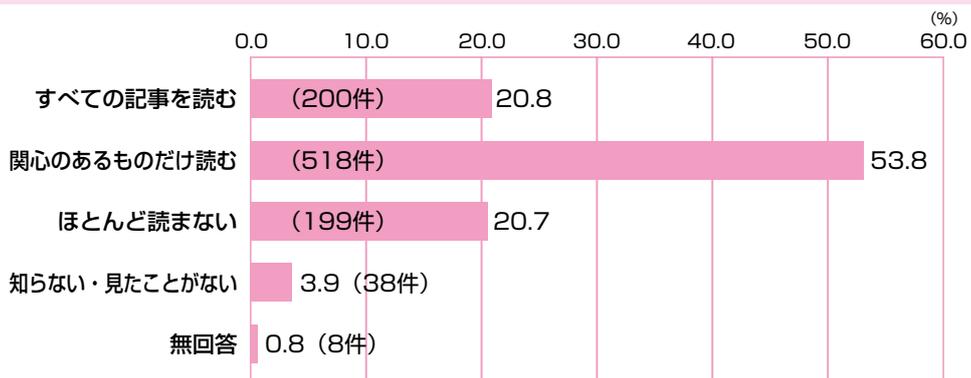
問2 あなたのお住まいについて教えてください。



問3 市議会に関心がありますか。

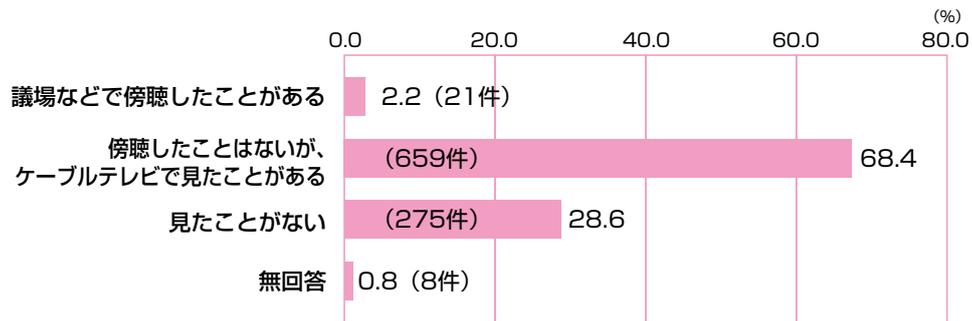


問4 「市議会だより」を読んでいますか。

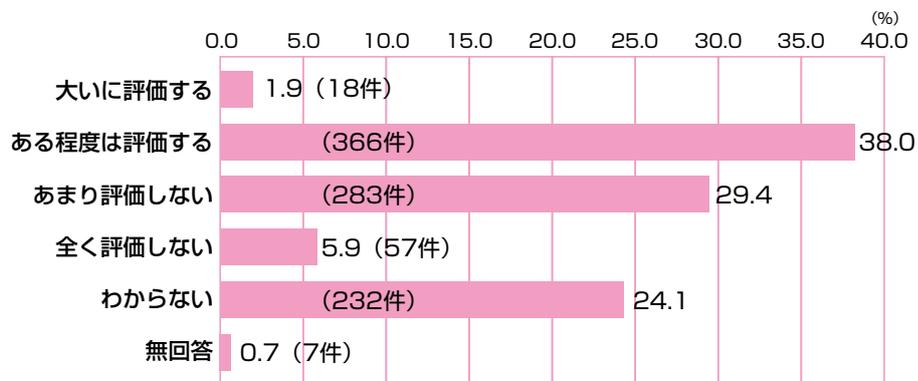


## 市民アンケート調査結果

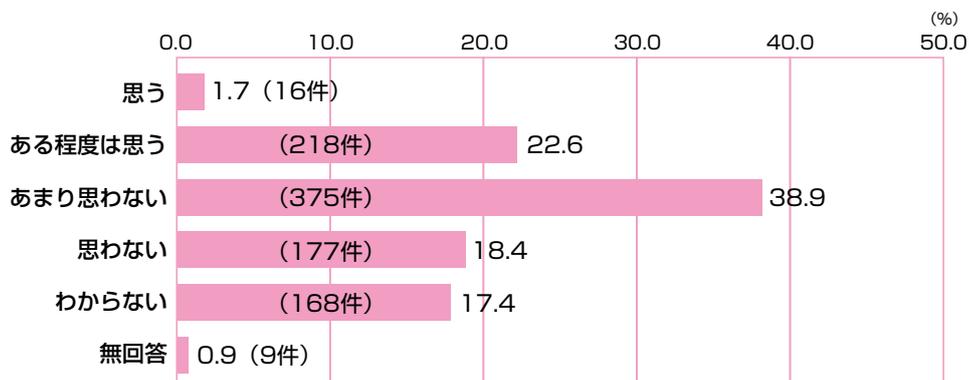
### 問5 市議会の会議などを見たことがありますか。



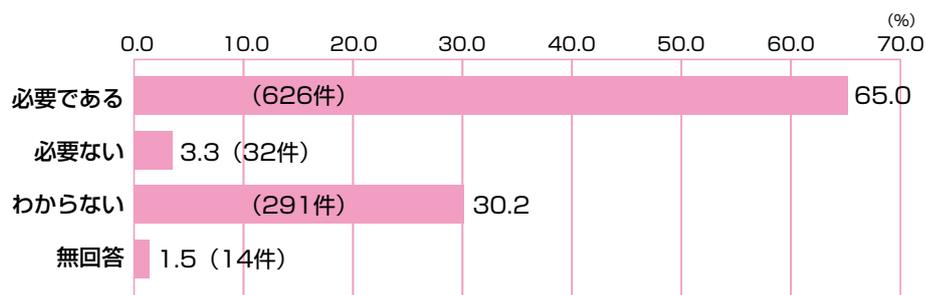
### 問6 現在の市議会をどう評価しますか。



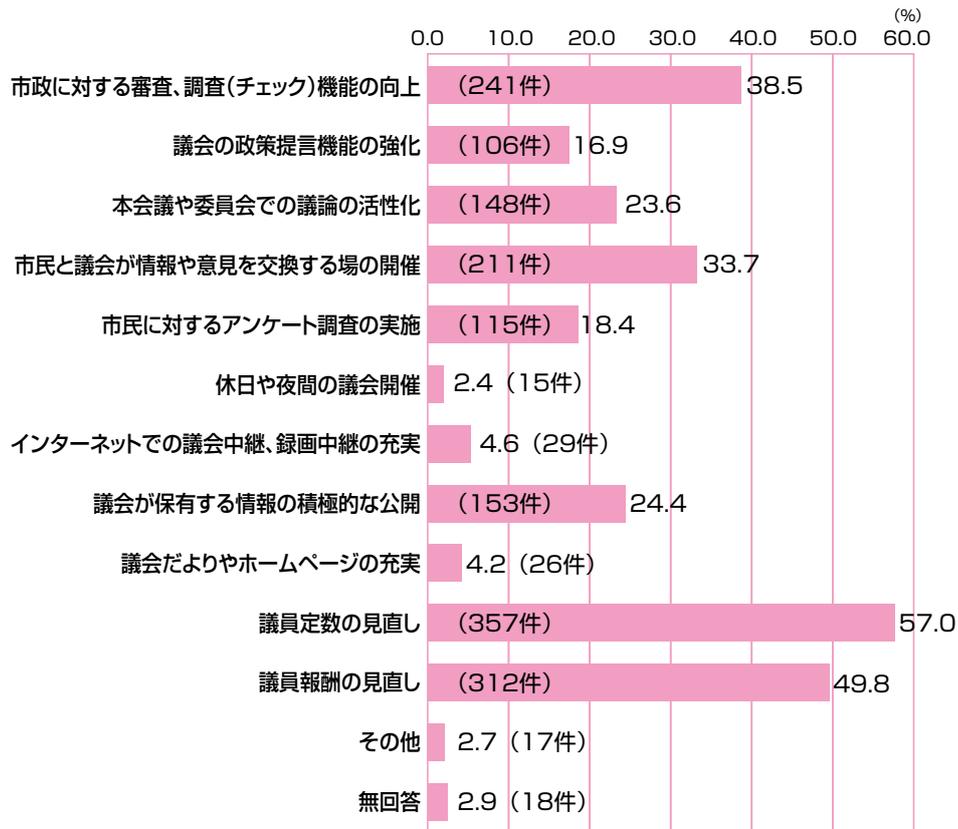
### 問7 あなたの意見や市民の声が市議会に反映されていると思いますか。



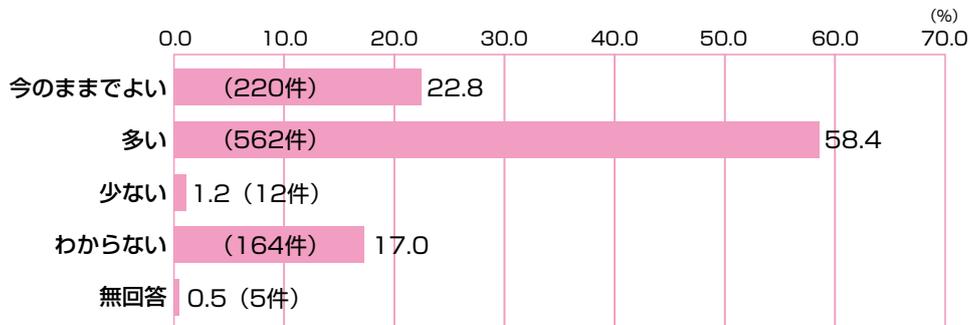
### 問8 市議会の改革は必要だと思いますか。



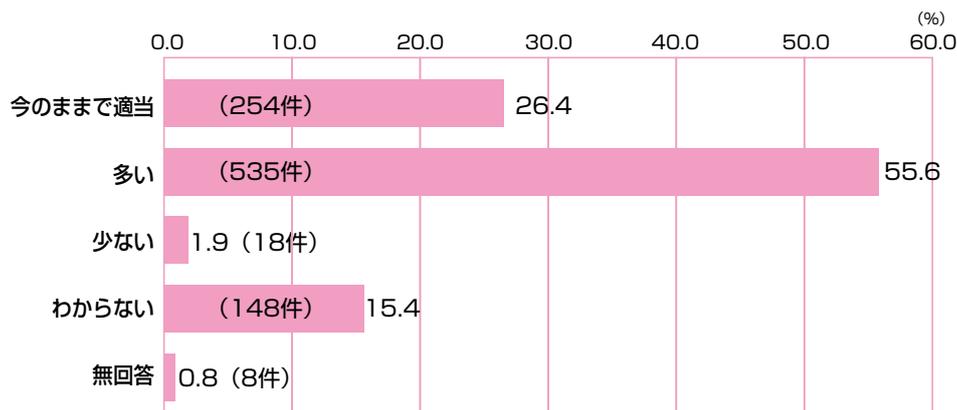
問9 問8で「必要である」と答えられた方にお尋ねします。市議会はどのような改革に取り組むべきだと思いますか。(3つまで回答可)



問10 現在の議員定数は20人ですが、議員数についてどう思いますか。

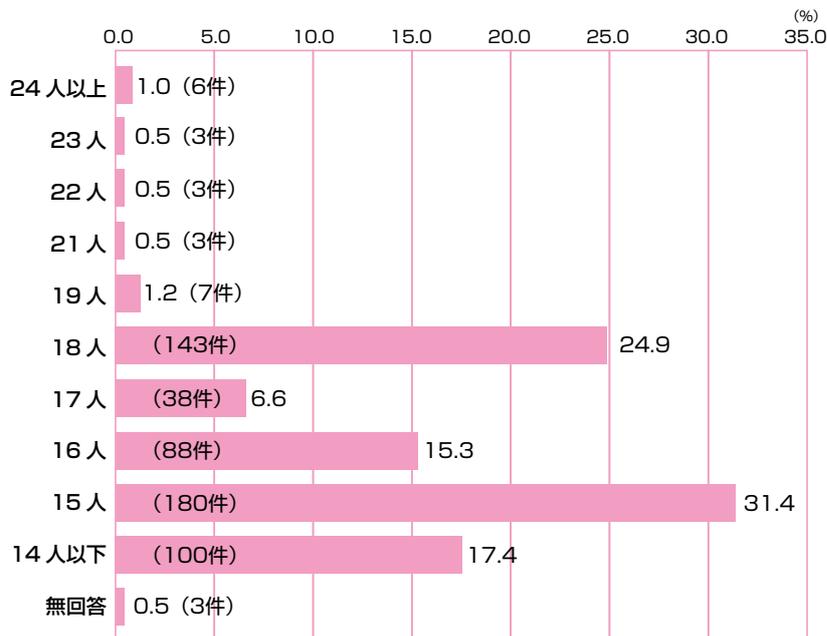


問11 議員報酬は条例で月額 350,000 円と定めていますが、これをどう思いますか。

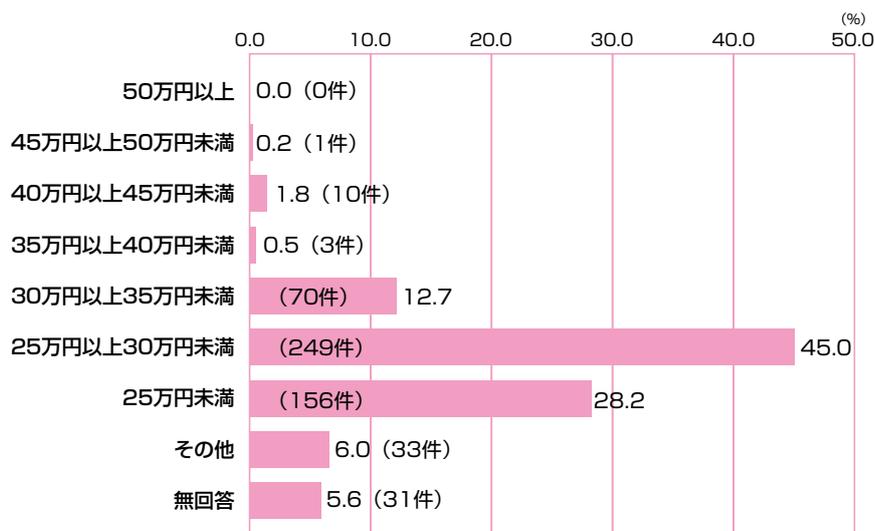


## 市民アンケート調査結果

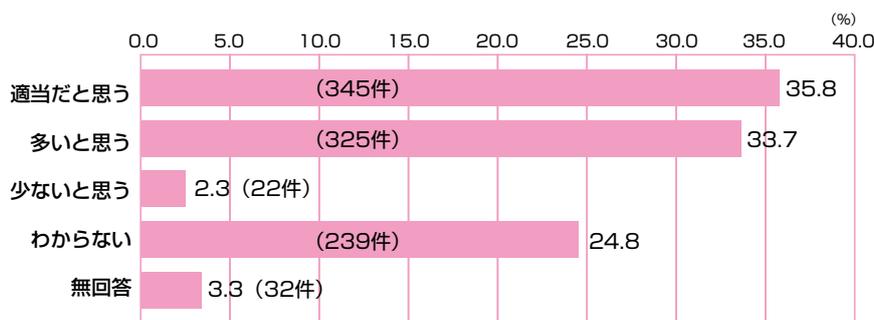
問12 問10で議員定数が「多い」「少ない」を選ばれた方にお聞きします。適正な議員定数は何人だと思いますか。



問13 問11で議員報酬が「多い」、「少ない」を選ばれた方にお聞きします。あなたが適当だと思う議員報酬額(月額)をお書きください。



問14 議員が調査研究のために必要な費用を支給する政務調査費制度があります。現在浅口市では会派または議員に対し1人当たり月額3万円の政務調査費(未使用の場合は返還)が支給されています。これをどう思いますか。



自由意見につきましては、議会に関するご意見だけでなく、市政に対するご要望やご提案など276人からご回答いただきました。全ての意見は、議員全員に配布し、参考とさせていただきます。貴重なご意見をありがとうございました。

# 委員会行政視察報告

## 民生常任委員会

10月31日から11月1日の2日間、愛知県高浜市と岐阜県瑞浪市を視察しました。

高浜市では、地域住民の力を活かし環境美化を推進させるため、議員提案により「高浜市みんなでまちをきれいにしよう条例」を制定しています。この条例の特徴は行政、市民、地域団体、事業者などの協働による活動の仕組みを取り入れ、実効性を持たせるため、罰則規定を設けていることです。

瑞浪市では幼保一体化の取り組みを視察しました。瑞浪市では保育園7ヶ所、幼稚園(5歳児対象)3ヶ所を設置していましたが、幼稚園が未設置の地区では不公平感があり、市内全域の子どもたちが平等なサービスを受けられるよう幼保一体化に取り組んでいます。



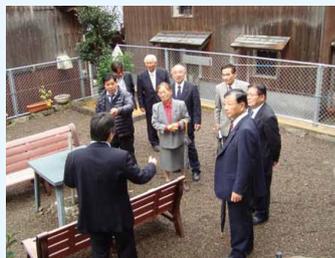
幼稚園

## 産業建設常任委員会

10月30日から31日の2日間、福井県越前町、京都府綾部市を視察しました。

越前町では、空き家再生等推進事業を視察しました。平成19年度に事業を開始し、ポケットパーク(小さな公園)として整備し、地域の憩いの広場として活用しています。所有者との交渉は地元地区が行い、10年間の土地の無償貸与などの承諾をとる事になっています。

綾部市では、特色ある農業振興施策を視察しました。農業従事者の高齢化や京野菜の減少などに対応するため、平成19年に綾部市が筆頭株主となり株式会社を設立し、京みず菜を生産しています。市内農業大学卒業生を雇用し、自家製有機肥料栽培や生産管理に工夫を凝らし、ブランド商品として成果を挙げています。



空き家再生等推進事業(ポケットパーク)

今回の視察の概要及び参加した委員が作成した報告書は市議会ホームページに掲載しています。

## 議会運営委員会

11月13日から14日の2日間、佐賀県鹿島市、嬉野市を視察し、議会改革や特色ある議会運営について視察しました。

鹿島市では、市民に審議内容を明らかにするため、本会議を中心とした審議を行い、インターネットで、議会のライブ中継・録画配信を行っています。また、平成24年から議会報告会の会場を1ヶ所から6ヶ所に増やし、市民のニーズに添えています。嬉野市も、本会議中心で議案を審議しています。また、各常任委員会は年に1回以上地元関係団体と協議を行い、それを政策提言に活かすなど、特色ある議会運営を行っています。



嬉野市役所

## 市政振興功労表彰

1月12日に当市議会関係者が次のとおり表彰を受けました。

### 特別功労表彰

市議会議員 大西 洋平

元市議会議員 抽井 勝敏

功労表彰 市議会議員 道廣 裕子

市議会議員 香取 良勝

元市議会議員 坂本 幹志

## 声の議会だより

目の不自由な方にも議会の内容をお知らせするため、**浅口はるか**会のご協力により議会だよりを音訳しています。

## 表紙写真

1月10日、金光竹小学校でどんど祭りが行われました。

とんど祭りは小正月に、正月の松飾り・しめなわ・書き初めなどを積み上げて燃やす行事で、その火で焼いたもちを食べると1年間健康でいられ、書き初めを焼いた炎が高く上ると字が上達すると言われています。児童が点火すると炎が高く舞い上がり、大きな歓声が上がりました。

火が落ちつくと、みんなが持ち寄った鏡もちを焼き、ぜんざいにして、おいしく頂きました。皆さんきっと1年間、健康で過ごせることでしょう。

## 広報特別委員会

委員長 平田 襄二

副委員長 伊澤 誠

委員 佐藤 正人 桑野 和夫

原 彰 中西 美治

柚木 毅 道廣 裕子

議会だよりは再生紙を使用しています